

# 訪米 in HAWAII 報告

平成28年9月3日から同月7日までの5日間、稲嶺市長は世界自然保護会議の世界自然保護フォーラムへ参加するためハワイを訪問しました。同フォーラムへの参加は、国際自然保護連合(IUCN)の会員であり、ジュゴン保護区を作る取り組みを進めていたジュゴン保護キャンペーンセンターの提案を受ける形で実現したものです。

今回稲嶺市長は、同フォーラムの「利害衝突や対立関係を考慮した環境保全」をテーマにしたワークショップに参加し、辺野古新基地建設問題を環境的側面から紹介しました。

IUCN: 1948年に設立された国際的な自然保護機関。  
成される世界最大の国際的な自然保護機関。



▲記者会見

## ワークショップ 名護市の現状を訴える

9月4日、ワークショップに先立ち記者会見およびポスターセッションが行われました。参加したハワイ在住の女性からの「辺野古新基地建設問題についてはまったく知らなかつた。何かできることはできるか」といった質問に対し、稲嶺市長は「家族、友人、知人など、多くの方にこの問題を知らせていただきたい。それが私たちの力になる」と協力を求めました。

ワークショップでは、同会議に参加するために世界中から集まつた環境の専門家の方々に、辺野古・大浦湾の現状を説明しました。環境アセスにおいて、「環境に与える影響は少ない」と判断した専門家の氏名が公表されていないことを

9月5日、米軍の引き起こす問題に関する訴訟を経験したアース・ジャスティス法律事務所のデービット・ヘンキン弁護士と会談しました。デービット氏からは、これまで担当した軍事基地関連訴訟の事例を踏まえて、米国の対応などについて説明がありました。また、辺野古新基地建設問題についての意見交換の中では「この問題について、どのような法律があるのか、環境アセスにどのような問題があつたのかなどを調べたい」とのコメントがありました。

## 専門家との面談



▲ワークショップの様子

▲世界自然保護フォーラム会場



▲「KZOOラジオ」でメッセージを発進する稲嶺市長



▲ポスターセッションで参加者に解説する稲嶺市長

## アロハパーティー参加 ウチナーンチュのチムグクルに触れる

9月3日に参加予定であった「オキナワフェスティバル」は残念ながら、ハリケーンの影響で中止となりましたが、稲嶺市長は同日、イグハワイ州知事や安慶田光男沖縄県副知事らとともに地元「KZOOラジオ」に出演し、沖縄県系の方々に来訪のメッセージを送りました。

最終日の5日に参加したアロハパーティーは、ハワイのウチナーンチュ

その後、ハワイ自然保護協議会のマジョリー・ジーグラー代表と意見交換を行いました。同氏は、デービット氏と共に米軍相手の訴訟を経験しており、「ハワイの環境団体とコンタクトを取つて繋がることが大事」「辺野古は環境と平和両方の問題を抱えている。世界規模の大きな団体に日本政府を訴えるよう要請をするのもいいでは」となどのアドバイスがありました。

今回の滞在中もハワイ在住のナグンチュ・ウチナーンチュの皆様には、あらゆる場面で手厚いサポートを頂きました。山本・トム・健ハワイ沖縄連合会会長はじめ、全ての皆様のチムグクルに心よりお礼申し上げます。

ハワイ沖縄県人会主催アロハパーティー参加▶



▲名護に縁のある方々と記念撮影



日程表	日 程	場 所
9月3日(土)	地元ラジオ「KZOOラジオ」出演 世界自然保護会議の入場手続 ジュゴン保護キャンペーンセンターとの事前打ち合わせ	アラモアナセンター ハワイコンベンションセンター
9月4日(日)	世界自然保護会議参加 記者会見 ポスターセッション ワークショップ	ハワイコンベンションセンター
9月5日(月)	アースジャスティス法律事務所のデービット・ヘンキン弁護士と意見交換 ハワイ自然保護協議会のマジョリー・ジーグラー代表と意見交換 ハワイ沖縄連合会主催のアロハパーティー参加	アース・ジャスティス法律事務所 ハワイコンベンションセンター ハワイ沖縄センター

